

# 【家庭教育支援チーム】

## (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	飛騨市家庭教育支援チーム (呼称:ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会) URL: <a href="https://jnflq.hp.peraichi.com/haruzion">https://jnflq.hp.peraichi.com/haruzion</a>
②活動拠点	〒509-4252 飛騨市古川町朝開町 1508 番地 川上様宅
③活動範囲	主に飛騨市を中心とした飛騨地域
④組織体制	___ 6 人 当事者スタッフ 2名、元教員 4名(内訳:民生委員1名、他3名)
⑤活動開始年度	令和3(2021) 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) ハルジオン 代表 中村 早苗 (TEL)080-1615-8518 (E-mail)haruzion.0401@outlook.jp

## (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上  の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<b>【具体的な活動内容】</b> ・相談、情報交換の場の提供 第1・3・4水曜日(19時～21時)、第2水曜日(15時30分～17時30分)にて、子どもや保護者等の相談や情報交換の場の提供をしている。ま

	<p>た、ショートメールや LINE を活用することで、時間を問わず、個別の対応も行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者の交流イベント開催(日中) 毎月1回程度、同じ悩みを持つ者同士が関わることができ、安心のできる居場所、人間関係をつくれるようなイベントの開催を予定している。これにより、地域の中でピアサポートを通して孤立を防ぎ、長期的な支援につなげる。</li> <li>・勉強会の開催(日中) それぞれの悩みや子供との関わり方、支える家族のサポート等の勉強会を開催する。</li> <li>・連携、情報交換の仕組みづくり 子どもの進路・就職について情報交換や専門機関との連携支援、将来の多様な場面を想定し、長期に渡って相談や情報交換のできる仕組みを構築する。</li> <li>・活動周知 飛騨市地域生活支援センターから出している広報誌に掲載してもらったり回覧やチラシを作成し、教育委員会の不登校児支援室「グリーンルーム」等へ配架してもらったりするなどして、活動や居場所に関する情報提供や周知をする。 令和6年度は市内小中学校にチラシを配布。</li> </ul>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動開始当初に支援を始めた子ども達は、それぞれの道を歩みながら少しずつ外に出て他者とも関われるようになり、親も子どもも笑顔で生活できるようになった。</li> <li>・行政や専門機関と連携した支援が行えるように働きかけ、少しずつ活動につながってきている。</li> <li>・活動を始めてから、徐々に認知されてきて最近では、児童期の相談が増えてきた。</li> <li>・令和6年9月10日 生涯学習課と共催で講演会「不登校等の困りごとに悩む子どもや家族の支援について」(講師: 岐阜大学板倉憲政准教授)を開催し、50人以上の参加あり。</li> </ul>
<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</p>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</li><li><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</li><li><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施<br/>(飛騨市やさしいまちづくり応援事業)</li></ul> |
|--|---|